

資料5

前橋市社会福祉審議会
第4回高齢者福祉専門分科会
R1. 11. 21

(2)第8期「まえばしスマイルプラン」策定に向けた準備について

①ニーズ調査等の実施について

第8期まえばしスマイルプラン策定に向けたアンケート調査等の実施について

1 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」について

【アンケート調査の目的】

第8期「まえばしスマイルプラン」の策定にあたり、要介護状態になる前の高齢者について、日常生活圏域における生活実態やニーズ、地域における課題を把握し、総合事業の評価や次期計画における総合事業部分の策定などに有効に活用するため、国の示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の手法により調査を実施するもの。

【対象者】

前橋市内の65歳以上の高齢者で要介護認定を受けていない一般高齢者、要支援者、総合事業対象者から無作為に抽出した総数3,000人を対象に実施する。

【実施方法】

(1)実施回数及び実施期間

- ①実施回数 1回
- ②実施方法 アンケート調査票を対象者あてに送付し、上記対象者が調査票記入後、長寿包括ケア課あてに返送する。
- ③調査票送付時期 12月上旬
- ④調査票回収期限 1月上旬

(2)調査項目

国の示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」調査票を使用し、「からだを動かすこと」「食べること」「毎日の生活」「地域での活動」「たすけあい」「健康」等に関する項目を調査する。

(3)データの集計、分析

回収した調査票を集計・データ化し、地域包括ケア「見える化システム」へ登録することで、地域分析や集積データの活用を行う。

「見える化システム」

地域包括ケア「見える化」システムは、国が開発した現状分析、実行管理、サービス量の見込みなど、都道府県・市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システム。介護保険に関連する情報はじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供される。

2 「在宅介護実態調査」について

【調査の目的】

第8期「まえばしマイルプラン」の策定にあたり、「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討するための議論の基礎資料とし、分析結果をもとに、有効なサービス利用のあり方などを示すため、国の示した手法により調査を実施するもの。

【対象者】

前橋市内で、在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方約650件を対象に実施。

【実施方法】

(1)実施回数及び実施期間

- ①実施回数 1回
- ②実施方法 認定調査員の配付による調査
- ③調査開始 12月上旬
- ④調査終了 必要数に達した時点で終了

(2)調査項目

国の示す「在宅介護実態調査」調査票を使用し、「世帯類型」「家族等の介護の有無」「施設等への入居・入所の希望」等に関する項目を調査する。

(3)データの集計、分析

回収した調査票を元に、データ入力、集計を行い、国が配信する自動集計分析ソフトを活用して現状分析を行う。認定データと組み合わせることによって、要介護者の客観的な状態把握ができることとなる。